

杉並和泉学園 3つのCの実現に向けた「アクションプラン」

作成:杉並和泉学園学校運営協議会 令和6年3月

アクションプランとは、学園の教育目標達成のために、中期的、短期的に学園・家庭・学校支援本部・地域が取り組む内容を、学校運営協議会で取りまとめたものです。

長期目標

目指す子ども像
「3つのC」



Create
【新たに創造する】



Communicate
【豊かにかかわる】



Challenge
【ひたむきに挑戦する】

中期目標

「3つのC」の実現
に向けて、
重点とする教育

- (1)自己肯定感を高め、夢の実現を目指す教育
- (2)感動と喜びを得られる教育
- (3)思考力・判断力(決断力)・表現力等を高める教育

- (1)多様性を認め合う態度・思いやりの心を育てる教育
- (2)思いや考えを的確に伝える方法を身に付ける教育
- (3)調整力・折衝力を育てる教育

- (1)失敗を恐れない、積極的な姿勢を育てる教育
- (2)学力や体力の向上に向け、努力する態度を育てる教育
- (3)ICTを自在に操る技術を身に付ける教育

2024年度末までに

【1】

学園の重点とする
取組

【A】

- (1)多様性(Diversity)を尊重した学園生活の充実
- (2)社会とのつながりを意識した9年間を通して進めるキャリア教育の充実
- (3)創立10年を振り返り、児童・生徒を中心とした新たな10年に向けた取組の充実

【2】

家庭の重点とする
取組

【B】

- (1)目標達成の積み重ねを見守る家庭環境づくり
- (2)図書をはじめ、伝統文化・芸術的なものに触れる機会づくり
- (3)タブレット端末等を活用し、自分で調べる習慣づくり

【3】

学校支援本部の
重点とする取組

【C】

- (1)弟子入り体験・起業家体験・社会貢献活動等のキャリア教育支援
- (2)茶道・華道・箏・書写等の伝統文化を学ぶ授業への支援
- (3)和太鼓・盆踊り・折り紙・水引結び等の、学園独自の伝統・文化にかかわる取組みへの支援

地域「地協推」の
重点とする取組

【D】

- (1)学校支援本部とともに、学園の教育活動をサポートする地域人材の発掘
- (2)大学体験学習など、地域とのつながりを意識したキャリア教育のサポート
- (3)学校図書館での「図書フェス」やICTを活用したイベント等の開催を推進

- (1)異文化・異言語・異世代との交流を通じた多様な人々と協働していく児童・生徒の育成
- (2)人権教育の充実や、異学部・特別支援学級との交流活動の充実に基づく人間関係形成力の向上
- (3)地域と学園による協働に基づく、児童・生徒、地域にとって価値ある教育

- (1)多様性を受け入れ尊重し、共感し合えるコミュニケーションの充実
- (2)子どもとの対話時間の確保
- (3)子どもの学校行事・地域行事への参加の後押し

- (1)学園・保護者・地域住民が一体的に進める、芝生の維持管理への支援
- (2)いずみみんなクラブでの放課後子ども教室における活動支援
- (3)学園・地教推・青少年委員等と協働して開設した「IZUMI ROOM」が4年目を迎える。不登校児童・生徒一人ひとりへの安心できる居場所を支援

- (1)乳幼児関連施設連絡会、中学生居場所事業「学びカフェ!2・3」の実施、子どもの多世代交流(乳幼児・高校生・大学生・地域の大人)の実現
- (2)地域ボランティアを含む“和泉おはなしの会”による学園小学部での読み聞かせ活動のサポート
- (3)地域の成り立ちや構成、かかわり等についての啓発

- (1)多様性(Diversity)を身に付ける異文化・異言語学習の意欲的な実践
- (2)地域との協働で行う系統性をもったキャリア教育の実践
- (3)タブレット端末を最大限活用して意思や考えを「伝え合う学習」の充実

- (1)失敗に対して受容、後押しできる家庭環境づくり
- (2)地域の子どもたちの、「学ぶ場」の定着
- (3)ICTの活用について子供とともに学び、話し合える環境づくり

- (1)手習い塾・放課後学習などの学習支援やラグビー教室のスポーツ支援
- (2)漢字検定及び英語検定の実施
- (3)昔の道具・昔遊び・地域や学園の歴史等、様々な経験をもった地域人材を活用した授業への支援

- (1)「みんなの夏祭り」、「さざんかフェスタ」等の行事での子どもたちが活躍する機会づくり
- (2)子どもの学ぶ場「ROPE 学習サロン」の推進
- (3)和泉地域防犯担当者情報交換会・小学部 PTA 主催街角パトロール(略称:PMP 活動)への参加、和泉防犯ネットワーク~IBN~等ICTを活用した児童・生徒・保護者との防犯活動の連携